

会 議 名	令和7年度 第2回 稲沢市社会教育委員会・公民館運営審議会
開 催 日 時	令和7年11月21日（金） 午後2時00分～3時40分
開 催 場 所	稲沢市勤労福祉会館 3階 第4会議室
主 催	生涯学習課
議 題	<p>◎あいさつ</p> <p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和7年度主要事業中間報告について</li> <li>2 令和8年度主要事業に係る取り組みについて</li> <li>3 その他</li> </ol>
出 席 者	<p>【委員】10名</p> <p>【事務局】</p> <p>教育長、教育部長、生涯学習課長、スポーツ課長、図書館長、美術館長、各課グループリーダー、社会教育指導員、生涯学習課主任 計14名</p>
備 考	傍聴1名

# 【会議概要】

## ◎あいさつ

（教育長）

・稲沢市の社会教育行政に対し、格別のご高配を賜り、また、本日は大変ご多用の中お集まりをいただき、誠にありがとうございます。

・季節が急速に進み、秋が短くなったと実感するところだが、先日、秋の芸術祭や稲沢音楽祭を鑑賞させていただき、大人に混じって子どもたちが生き生きと発表している様子や、市民の皆様が音楽を楽しんでいらっしゃる様子を拝見し、大変素晴らしいという感想を持ちました。

・昨日、市内32小中学校への今年度の学校訪問を終え、どの校長からも、学校や子どもたちに対する地域の皆様の温かいご支援に対する感謝の言葉が聞かれました。様々な活動のためにご尽力をいただいている市民の皆様に変更して感謝しています。

・アジア競技大会の開催まで1年を切り、これから準備が本格的に進んでいきます。関係機関との連携を密にしながら、ハンドボール競技が行われる本市の機運の醸成などに取り組んでいきます。ご理解とご協力をいただければ幸いです。

・本日の会議では、令和7年度主要事業の中間報告と、令和8年度主要事業に係る取り組みについてご意見を賜れば幸いです。

・最後に、本市の社会教育の充実に向けて、委員の皆様のお力添えをいただきますこと

をお願い申し上げますとともに、インフルエンザが大変流行している折、健やかにお過ごしいただきますことをご祈念申し上げまして、あいさつとさせていただきます。

(委員長)

・家からここまで来る際に、山崎駅のところを通ってきた。イチョウはどうなっているか見てきたが、やっぱりまだ去年と同じように緑が目立ってしまっていた。それだけ暑かったと、いよいよ黄葉まつりの時期をずらさなければいけないかなと勝手に思っているが、明日からイチョウ黄葉まつりですので、皆さんもお時間があれば、一歩足を向けていただけるとありがたいと思います。

・第2回の会議ということだが、愛知県社会教育委員連絡協議会西尾張支部の会議があったときに、各市町村では社会教育の会議を1年に何回やっているかという話題になったが、やっぱり2回が多かった。3回やっているのは稲沢市と一宮市だったが、なぜ3回かという、予算要望のためにやらないと意味がない。その事業がいいとか悪いとかじゃなくて、この後、説明をしていただくが、簡単に言うと、その事業を続けたいのか、辞めたいのか。なぜかと言うと、この社会教育委員会で、例えば様々な事業あるが、財政とお話していただくときに、社会教育委員から意見があったということで、予算要求の後押しができるといいと思います。ぜひ予算査定のときに、社会教育委員の方たちがやれと言っているというように言っていただけたらと思います。

## ◎議題

### 1 令和7年度主要事業中間報告について

資料1「令和7年度 主要事業報告書」について生涯学習課、スポーツ課、図書館、美術館の順で説明

## ◎生涯学習課説明

・寿教室では、テーマを健康、歴史だけでなく、市の方針としてDXへの関心を高めるテーマも取り入れている。

・成人大学では、経済、世界情勢等、幅広いテーマで開催をしており、例年通り、申し込み開始から1週間程度で定員に達する人気講座となっている。

・子育てセミナーでは、アンケートの結果で、有益な情報に接することができたと好評だった。

・親子ふれあい広場では、保護者同士の交流の場を提供している。また、1シリーズ6回のうち1回を日曜日に開催し、男性の育児参加にも取り組んだ結果、終了している4シリーズで延べ22組の御夫婦で参加があった。

・家庭教育学級では、昨年度は、申し込み者が27人と少なかったが、今年度は各学校の協力を得て、開催案内をしたところ、申し込み者が45人と増加するとともに、約6割の方が学校からの案内を見ての申込だった。引き続き、学校の協力が得られるようお願いしていく。

・公民館活動団体では、登録団体がやや減少傾向となっている。

・文化財保護事業では、古文書講座ほかを開催した。中高記念館公開と稲沢文化財展では、稲沢まっりの期間中に中高記念館の内部を公開するとともに、NHKの大河ドラマにちなみ、江戸時代の刷り物の展示を行った。また、今年度は、愛知建物博覧会とのコラボ企画として、10月18日の午前と午後に各1回、愛知県が認定したヘリテージマネージャーの方に中高記念館の解説をしていただいたところ、併せて25名の参加があった。

・文化財保存修理は、当初は2件の予定だったが、1件は、所有者の意向により見送りとなった。

・今年度は、市民会館小ホールの音響設備更新工事を行う。また、財政状況が厳しいため、少しでもその一助になればということで、現在クラウドファンディングを実施している。目標金額にはほど遠いので引き続きPRしていく。

◎質疑応答

(委員)

・千代田教室は申込が8人と少ないが、需要と供給に応じて考えるべきではないか。一律も大事だが、そういうふうにも考えることも必要ではないか。

(生涯学習課)

・生涯学習課としては寿教室に関してはあくまでもひとくくりということで考えている。この地区の受講者が多いから回数を増やすといった考えではなくて、申し訳ないが一律でやらせていただくということをお願いをしたい。

(委員)

・社会教育委員会と公民館運営審議会を兼ねているが、ソブエルで行う講座は生涯学習課の職員が企画している本当に数少ない公民館事業になるのではないか。

(生涯学習課)

・正確には公民館職員としてではなく、ソブエルの職員として、やっている。また、ソブエルは社会教育法上の公民館ではない。

(委員)

・社会教育法上の公民館というのは、こういった位置づけのものか。

(生涯学習課)

・社会教育法上の公民館は、館長と公民館主事を置くことができるとなっている。祖父江の場合は公民館と違って、利用料は倍額になるが営利目的での利用も許可はされている。公民館とはまた性格が少し違う施設にはなっている。

(委員)

・稲沢の公民館としてどのようにしていくかということを教育委員会で、生涯学習課中心にやっていただきたい。

(委員)

・小ホールの音響設備の更新工事のクラウドファンディングが行われていて、反応が少ないということだったが、どのような状況か。

(生涯学習課)

・昨日現在でわかっているのは3万円。

(委員)

・興味を持っていたので見たが、クラウドファンディングという返礼品のようなものが付いてくるが、これに関しては一切お礼の品はないと書いてあったかと思う。クラウドファンディングされても、それに伴うものが一切ないのはなぜか。

(生涯学習課)

・クラウドファンディングの返礼品について、市民会館の場合は、チケットの割引を当初想定していたが、市民会館には友の会という制度あり、年間1,000円払うと、割引を受けられる。

・ふるさと納税の税額の基礎控除が2,000円で、例えば3,000円寄付されたとすると、2,000円を引いて1,000円が次の年にバックされるという形になっている。それとのバランスを考えると、3,000円払って2,000円分割引なら、友の会に入った方が得ではないかという話になり、ほかに新しいものが思い当たらなかったため返礼品はなしということにさせていただいた。

(委員)

・有料のイベントでも空席が多いことがある。そういうのは機会があれば、チケットを渡しますといったやり方もあったのではないかと感じてしまう。

空席の多いものについては市民会館の方と検討してみて、チケットお送りしますぐらいのことがあってもいいのではないか。検討の余地はあるか。

(生涯学習課)

・昔に、あるチケットが全く売れなくて配ったそうだが、有料で買った人たちからクレームがあり、大問題になったことがあった。有料で買った人と、無料で配られた人とのバランスも考えないといけない。

(委員)

・クラウドファンディングは実際にお金出しているのでもいいのではないか。

(生涯学習課)

・寄付額がバラバラで、なかなか難しいところもある。そういったことがあるので、チケットの無償配布は相談するが、会館側はあまり乗ってこない印象である。

・ほかに、クラウドファンディングされた方向けの公演をやるとしても、それがどういう公演かによって、それだったらいいとか、例えば音楽系だったらいいけど落語しか興味ないから落語のチケットが欲しいのに音楽だけなら寄付しなくてもいいということもある。そこら辺のところのバランスも考えながら、今回についてはもう間に合わないのも、もし今後やることがあればそういったことも検討していく必要があると感じている。

(委員)

・特典がないというのは、金額にもよると思うが、例えば10万円とか50万円とか寄付しようと思ったときに何もないとなると、見返りを期待するわけではないが、多少そういうことを考慮されると寄付が集まりやすいのではないかと感じたので、一度、検討していただきたい。

(生涯学習課)

- ・寄付金額が大きい場合は、お名前を公表してもいいという方だけだが広報等に掲載される。また、地域猫の避妊推進プロジェクトは以前もやっていたが、返礼品がない。ただ、金額によるが、感謝状はある。

- ・いずれにしても、市内の方だとあまりメリットがないが、市外の方だと返礼品目当てで寄付する方もある。今後、実施するかどうかは別だが、一度市民会館と検討していきたいと思う。

(委員)

- ・市民会館を管理している財団の理事会のメンバーに入っている社会教育委員がいる。2月に理事会があるので、そういうことも含めて出してくださいとお願いしてください。

(委員)

- ・公民館について、2月に社会教育委員会があるのでそれまでに稲沢市としての考え方を一度お聞きしたい。稲沢市の公民館をこれからどのようにしていくかを含めて、よろしくお願いをしたい。

#### ◎スポーツ課説明

- ・トップアスリートの交流事業では、部活動巡回指導として、バレーボールチームウルフドッグス名古屋から中学校の部活動に指導者を派遣し、トップレベルの技術やプレーを体感していただくことで技術、競技力の向上に繋がっている。また、ハンドボールチーム豊田合成ブルーファルコン名古屋の巡回指導日程は各中学校とブルーファルコンで現在調整をさせていただいており、12月から3月にかけて実施する予定。

- ・また、7月29日にウルフドッグス名古屋のコーチ・選手を講師に、小学生を対象にバレーボール体験教室を開催し、129名が参加した。新規事業のハンドボール教室については、春休み開催に向け調整中。

- ・着衣水泳指導の実施については、セントラルフィットネスクラブ清洲、スポーツクラブNAS稲沢の協力を得て、水難事故防止のため、市内小学校へ講師を派遣し、着衣水泳教室を開催している。この着衣水泳指導は、令和5年度より小学校のみの実施としており、本年度は8校で実施した。次年度も引き続き予定している。

- ・地区体育振興会については、市内に15の体育振興会が活躍しており、地区のスポーツ振興を行い、住民相互のふれあいの場を提供する活動を行っている。本年度については、運動会の季節に、週末になると雨といった悪天候の状況であったため、実施報告はまだいただいていないが、運動会を実施した地区体育振興会は少数という状況になっている。また、参加者の傷害保険について、保険会社との行き違いがあったため、次年度に向けて予算措置をして調整をしていきたいと思っている。

- ・第37回シティマラソンについては、当日だけ雨天だったが、特別ゲストとしてウルフドッグス名古屋の現役選手山田脩造選手にシーズン中にも関わらずお越しいただき、スターターとして活躍していただいた。また、ランナーは1,408人が参加した。また、今年度はスポーツと文化の連携として、各部門の10キロの入賞者、1位から3位には、美術館特別展のチケットを贈呈し、ゼッケンの送付時には美術館のチラシを同封し

ており、ゼッケンまたは完走証で美術館特別展の割引を行った。

◎質疑応答

(委員)

- ・シティマラソンの申込みが2,191名で参加者が1,408名というのは、申込みしたが来られなかったということか。

(スポーツ課)

- ・当日は、悪天候だったため、10キロの方はお金を払っているのに、走られる方が多いが、他の小中学生の2.5キロ、3キロ、ジョギングを中心に、小中学生は無料で申込みということもあって、悪天候になると参加が少なくなる。

(委員)

- ・ボランティアの方が多く出られるが、何人ぐらいか。

(スポーツ課)

- ・手持ちの資料がないのですぐに数はわからないが、スポーツ協会の各団体、連合婦人会、足立学園、硬式野球連盟等から人数を出していただいている。軟式野球で40人近く出していただいているので、300人ぐらいのボランティアに来ていただいているかと思う。

(委員)

- ・来年からボランティアも何人と書いておいていただけるとよい。

(委員)

- ・多くのボランティアさんがいる中で、学生はどのぐらいか。

(スポーツ課)

- ・団体の中で学生は入っていたかもしれない。また、足立学園では、啓成高校の生徒に20人くらい来ていただいている。

(委員)

- ・参加者がこれだけ少なくなっても、ボランティアの方は雨の中でやっていただいたかと思うが、ボランティアの方は、棄権することもできないと思う。悪天候で寒かったと思うが、状況を教えてもらえるか。

(委員)

- ・連合婦人会の担当は、稲沢公園のコース給水、ゴール給水を担当していたが、稲沢公園のコース給水の方は、雨の中テントもなく、ランナーの方がコップに雨が降ってしまうため、難しい状況だった。担当の会員たちも自分たちが傘をさすと雫がコップに落ちるということで、とりあえずコップに何か被せるものがないかということで、ゴミ袋を破いて、それでも雨水の重みでコップにへこむので、溜まった雨水を捨てながら、自分たちは傘を差さずに、ずぶ濡れになってやっていたそう。ゴール給水にはテントがあったので、その辺を配慮していただけたらよかった。

- ・また、規制でペットボトルの配達車が中に入ってきて来られず、手で運んだということだった。

(スポーツ課)

・12月10日に反省会があるので、そこでの意見も取り入れて次年度に向けてやっていきたい。ランナーには急遽 TENT を3つ用意したが、ボランティアの方には配慮が足りなかった。

(委員)

・参加者は棄権できるが、ボランティアの方は棄権すると、運営ができないので一生懸命やっていたことと思う。

(委員)

・地区体育振興会のことで、旧稲沢市内で14の小学校区があつて、それぞれにかつての体育振興会があつたと思うが坂田が表にない。また、稲沢西は事業内容の記載がない。これは体育振興会がないのか。あつても活動していないのか。

(スポーツ課)

・稲沢西地区の体育振興会については、体育振興会の活動及び活動費の徴収について一部の区長から反対の声が上がっており、体育振興会としては活動ができない状況だと聞いている。

・坂田地区は合併をして活動している。

(委員)

・祖父江は、昔は小学校区ごとに体育振興会があつたが1つにしろさいということになって1つになった。

・旧稲沢地区は小学校区ごとに体育振興会があるのに、何でそんな差がつけられたのか。次の会議の時のいいので教えていただきたい。

(委員)

・平和と一緒に、総合型地域スポーツクラブができたので、一つになったのではないかなと思う。

(委員)

・総合型地域スポーツクラブでやっているが、なつたと同時にとかではなくて、経緯を調べて、また次の会議に教えていただきたい。

## ◎図書館説明

・利用状況について、前年度同期間との比較で概ね横ばいの状況だが、対比較対象外の配本サービス、相互貸借、大学連携を除くと、減少傾向が見られる項目は貸出冊数、利用者人数、予約者数、AV館内利用、団体貸出（貸出文庫）、増加傾向がみられる項目については、入館者数、インターネット館内利用、家庭文庫・声の図書、電子書籍となっている。

・図書館の事業について、新規事業を中心に説明する。令和7年度稲沢市図書館夏休みワークショップ「低学年向け読書感想文を楽しく作ろうよの会」では、自分の選んだ本を読み、ポイントごとに自分の気持ちをまとめる活動を経て、感想文にまとめる一連の流れを体験する催しで、楽しく取り組むことができた、参加者から好評。これらは申込者以外の方からのニーズも高く、次年度に繋がる成果を得ることができた。

・杏和高校ビブリオバトル決勝戦は12月18日開催の新たな取り組みとなるもので、毎年杏和高校で開催されている学生によるビブリオバトルの決勝戦を祖父江の森図書館を会場に開催する。一般観覧者も事前予約で募集を行う予定。

・天体観望会（第1回）では、昨年度、土星食の発生に合わせて特別開催した事業で、好評により、今年度も継続事業として行っている。参加者は30名で、この他プロジェクター投影のみの観覧者の方も多くお集まりいただいた。今年度は2回開催の予定で、第2回は2月28日を予定している。

・こくりプログラミング講座については、ロボットタイプのタブレット「こくり」を使って基本的なプログラミングを学ぶ講座で、小学生低学年を対象とした。機器の台数に制限があるため、今回5名定員にて実施したが、希望者も多いことから、今後は開催方法などを工夫して、継続開催を計画したいと考えている。

・これらの新規事業は、イベント講座の参加を契機に興味を持ったそれぞれのテーマについて、図書館の蔵書で内容を深めていただくきっかけ作りと図書館を身近に感じていただく機会の提供を目的としている。今後も積極的に取り組む必要があると考えている。

・稲沢市における子ども読書活動推進計画は、令和6年度末に第4次計画を策定し、今年度からの5年間を計画期間としている。今年度はその初年度に当たり、今後5年間の計画事業の具体的取り組みに着手し始めた。

◎質疑応答

（委員）

・これらの事業は継続か

（図書館）

・来年度は、今、説明した事業は継続で、事業としては拡大方向で計画している。

（委員）

・こくりプログラミング講座が大変好評だが、定員は5名で、申込みはどのくらいだったか。

（図書館）

・当日に申し込みを始め、10分前から定員になった。その後もひっきりなしに電話がかかってきており、お断りするのにも大変申し訳なく思っていた。

（委員）

・また次年度以降、回数を増やしていただけるといいと思う。

（図書館）

・ロボット自体を扱うということで、お子さんが大変興味を持たれ、時間がたてばたつほど、より細かいことをやっていこうという意欲が溢れていたようだ。今後も検討していきたいと思う。

（委員）

・利用状況のところで、相互貸借というのはどういうものか。

（図書館）



・相互貸借については、基本的には愛知県図書館に蔵書がある場合にそこから借り受ける。その後、愛知県図書館が県内で定期的に配架の車を回すので、それに乗った形で県内の公立図書館と大学図書館が関係する。それでもない場合は連携している東海地区の県図書館とのやり取りを行い、それ以外の地区の公立図書館とは郵送を申し込んだ方が負担するというやり方で相互の貸借をしている。

(委員)

・文理大学と協定を結んで、図書の貸し借りは今でもやっているかと思うがそういうものも含まれるか。

(図書館)

・大学連携でカウントしているので、相互貸借には加えていない。

(委員)

・貸し出しが多いのは、稲沢にそれだけ欲しい本があるという受け取り方でいいか。

(図書館)

・そういうことになるが、蔵書数が多い図書館で貸出数が増える傾向にあり、稲沢市は比較的中間層以上になるので、貸出件数が多いものと考えている。

#### ◎美術館説明

・今年度荻須作品2点の寄贈があった。1点目は、「ボールガール通り」というリトグラフ作品で、今年度の特別展「荻須高德 リトグラフ展」に合わせて展覧会が充実するようにと寄贈いただいた。2点目は、「水車場と小舟」という油彩画で、荻須の油彩画は43点となり、現在、合計271点の荻須作品を所蔵している。

・9月議会補正予算で、荻須作品の絵画1枚の購入が認められた。この絵画は、平成23年度の特別展生誕110年記念荻須高德展の開催にあたって、「プロヴァンのガレージ」という荻須の油彩画を借用させていただいた個人の方からご連絡があり、事情により荻須の油彩画を手放すことになったが荻須の顕彰館になら、より低い価格でお譲りいただけるとのことだったので、荻須の重要な作品が散逸することを防ぐため、急遽、補正予算での対応をお願いした。なお、作品名については、「ガレージ」は他に「ガラージュ」と題する作品があるため、フランス語の発音「ガラージュ」に統一させていただき、「プロヴァンのガラージュ」となる。現在、購入に向けて事務手続きを行っている。今回、この絵画を購入するため、美術品等購入基金積立金が減少してしまい、来年度以降、美術館が希望する絵画の購入が大変困難になるので、現在クラウドファンディングで応援していただけることをお願いしている。

・特別展「荻須高德 リトグラフ展 ―稲沢市荻須記念美術館コレクション―」は、当館の顕彰画家である荻須画伯のリトグラフが主体の展覧会で、平成12年西暦2000年の特別展以来、四半世紀ぶりとなる開催。また、今回の特別展の図録は書籍として、作成販売することにした。そのため、全国の書店、本屋さん、ネット書店などでも手に入れることができる。図録の帯やネット書店の紹介ホームページには稲沢市荻須記念美術館で特別展開催とPR情報も記載されており、良い宣伝になっていると考えている。特別展グッズ

について、電話で応対させていただいた方は、九州にお住まいの方で特別展のグッズのポスターを購入希望されていた。併せて図録も通販をご希望されたが、図録は近日中にお住まい近くの本屋さんかネット書店でも入手可能になることをご案内した。

・青空アートの日とは芸術美術の教育普及活動として、当館では初めて行った。関係各所にご協力いただき、青空アートの日と題して、美術館と隣接の稲沢公園でのイベントを予定していた。当日はあいにくの小雨模様の肌寒い天候で、館内でのみのイベント開催に変更したが、ダンボールのコインケース作りのほか、参加型の美術教室や音楽家のミニコンサートや楽器体験、飲み物や軽食のキッチンカーにも参集してもらい、講座参加者を含めて約460人の方々にイベントを楽しんでいただいた。来年度も開催予定で、現在、財政当局と話を進めている。

・美術館大学パートナーシップについては、平成25年度から開始した事業で、大学から学生数、職員数に応じた年間費をいただき学生や教職員の観覧料を無料とすることと併せて大学と美術館で連携事業を行うもの。市内の名古屋文理大学および愛知文教女子短期大学の二つの大学と連携している。

・今年度も例年のように二つの大学とも、特別展期間中に多くの学生が授業の一環などで来館されており、名古屋文理大学からは特別展期間中、昨日までで計126人が来館され、愛知文教女子短期大学からは同じく期間中、昨日までで計73人が来館されている。

#### ◎質疑応答

(委員)

・特別展を観覧してきたが、名古屋文理大学の学生が学芸員の話聞いて、授業の一環ではあるが、一生懸命に模写していた。本当に真剣で素晴らしいことだと思った。様々な人が来る美術館で、多くの人が呼べるようなことが大事だと思った。

## 2 令和8年度主要事業に係る取り組みについて

資料2「令和8年度社会教育目標(案)」、資料3「令和8年度主要事業に係る取り組みシート」について生涯学習課、スポーツ課、図書館、美術館の順で説明

#### ◎生涯学習課説明

- ・地域学校協働活動推進事業について説明。
- ・今後は、地域学校協働活動推進員の横のつながりを拡大していきたい。

#### ◎スポーツ課説明

- ・トップアスリートとの交流事業について説明。来年度はアジア競技大会が開催されるため、バレーボール体験教室は実施しない。
- ・第20回アジア競技大会(愛知・名古屋2026アジア競技大会)について説明。
- ・各種スポーツ団体等に協力依頼し、500人を超えるボランティア登録があった。
- ・期間中の職員派遣要請が組織委員会から19名あるが、具体的な業務内容等はまだ連絡がない。

#### ◎質疑応答

(委員)

- ・部活動地域展開について、何が変わったのか。

(スポーツ課)

- ・地域移行と言っていたが、地域展開と名称を変えた。地域連携ということで、いな活を学校の部活をまとめて土曜日にやるという形を作っていく。それをやりながら地域のスポーツ団体等に中学生が参加できるようにしつつ、認定地域クラブというような制度が9月に発表されて、そちらの方の制度を使い中学生団体の認定をし、中学校を使って部活動の代わりの活動をしていくような方法を作り上げていきたいと思っている。

(委員)

- ・豊田市のような先行事例があるが、稲沢市は最終的にどこを目指しているか。

(スポーツ課)

- ・ゴールとしては、部活動がなくなり、すべて地域クラブになるのが令和13年で、目標としては学校の教員が関わらない形にしていく。

(部長)

- ・現在の教員による部活動は原則廃止の方向になる。学校から地域に移行するのが部活動地域展開の目標となる。ただ、教員の方でも部活動に関わりたいという方もみえるので、そういう方については、部活動指導員に登録いただいて、学校とは切り離して指導員としてご指導いただくことになる。最終的には教員による部活動ではなく、子どもたちの居場所となるそういった活動を支えていきたいと考えている。

(委員)

- ・かつては部活動を一生懸命やってくださいと言いつつ、総合型地域スポーツクラブの普及もやっていた。また、当時のスポーツ推進計画の中には、すべての市町村で1つは総合型地域スポーツクラブをつくるということが入っていた。部活動のことは、働き方改革も関わっている問題だと思うので、どのようになっていくか気になったので質問させていただいた。

- ・アジア競技大会の大会旗の巡回展示は何会場でやられたか。その成果は、住民の参加なのか、SNS発信だったのか、関連イベントにつながっていくのか、どのような成果だったか。

- ・費用対効果について、どれぐらいのお金が動いたのか

(スポーツ課)

- ・大会旗が稲沢市に来たのは1回。成果については、アジア競技大会が来年ということで、スポーツ課の事業としては特段ないが、エントリオで大会組織委員会が大会1年前イベントを開催している。スポーツ課としてもそういった事業には協力をしている。

(委員)

- ・3名派遣職員もよくやってくれており、なんとかして盛り上げていきたい。
- ・新聞に出ていたが、物価高騰で、大規模な選手村の建設が中止となり、クルーズ船やコンテナハウスの活用、会場地の変更といったこともあるが、愛知県知事始め、一生懸命やってみえるので、何とか盛り上げていければと思っている。

・子どもたちや市民もこういう大会を二度と味わうことがないと思う。アジア競技大会を盛り上げていくためには、様々な課題が出てくると思うが、事業の優先度を何にするかという観点からまずはスポーツ課から発信をしていって、調整をしてもらいたいと思う。

(スポーツ課)

・アジア大会については、なかなか公表できる時期が難しいところもあり、公表できるようになり次第、発信をしていきたいと思っている。

(委員)

・盛り上げるためには、市長筆頭に、副市長、教育長、教育部長、そういう立場で発信することが大事ではないかと思う。

#### ◎図書館説明

・子ども読書活動の推進（稲沢市子ども読書活動の取り組み）について説明。

・令和8年度は中央図書館が開館20周年、平和町図書館が開館40周年を迎えることから、記念事業として、各方策に関わる参加型イベントを展開する計画となっている。これらの事業を通じて、使いたくなる図書館を目指していく。内容については、2月に開催する図書館協議会にて、図書館協議会委員に協議いただく予定となっており、変更修正が生じた場合は、改めて報告する。

・稲沢市子ども読書活動推進計画を策定し、子どもの読書環境の充実を図るため、具体的な取り組みの実施および計画の進行管理を行っており、現在は令和7年度から令和11年度までの計画期間とする第4次計画に基づき取り組んでいる。事業の実施によるこれまでの成果の主なものとしては、市内小中学生の平均読書量の向上と、不読率の減少が挙げられる。

・来年度は稲沢市における子ども読書活動の実態を把握するためのアンケートを実施予定で、調査方法および調査対象について、新たな視点で効果的な把握ができるよう、検討を進め、実施するよう努める。

・具体的な取り組みについても課題である不読率の改善、読書量の向上に向けて効果的に働くよう、関係各課とも連携して実施していく。

#### ◎質疑応答

(委員)

・アンケート実施とあるが、具体的にアンケートを反映して何かやったこととか、こういうことをやりたいとか何かあるか。

(図書館)

・各計画のときに、隔年で大きなアンケートをさせていただいている。その内容としましては、実際にお子さんの中で特にこちらが注目しているのは、多読の児童生徒さんと全く本を読まない児童生徒さんがおり、その方々がどういう環境下において、またどのような実態に即しているかということの実態を把握して情報提供を行って、次の施策に繋げている。特徴的なのは、1ヶ月間本を1冊も読まない子の特徴としては、一般的に

いう図書のみならず、漫画も雑誌も全く読まないという傾向があり、そもそも文字を読まない子たちの傾向が多い。それからご家庭に本が多くある環境下にあるお子さんや読み聞かせを経験されたお子さんというのは多読傾向にあるということが把握できた。しかしながら、中間層にはあまり多読の影響が顕著に現れることがなかったという状況が把握されている。これからはDXの関係やスマホが日常生活に使われている環境から、どのような傾向が見られるかということを今後注視していきたいと思っている。

(委員)

- ・その情報がわかったので、私もありがたいなと思ったが、集計の結果とかどこかで見ることができるか。

(図書館)

- ・これまでは調査させていただいた学校には資料の提供をしているが、今後どのような発信の方法ができるかは、検討していきたいと思う。

(委員)

- ・先ほど説明されたことを、これまでの成果に書くとわかりやすいかも知れない。

#### ◎美術館説明

- ・令和7年度特別展「荻須高德 リトグラフ展 ―稲沢市荻須記念美術館コレクション―」について説明。
- ・特に令和8年度は、荻須画伯没後40年にあたる節目の年のため、特別展に注力する。
- ・これまでの成果としましては、令和5年度までの特別展では、荻須画伯本人、荻須画伯と交友等で関係のあった作家、荻須画伯と同時代の画家等の特別展を主に開催し、様々な芸術文化の鑑賞機会を提供してきた。それとともに、当館の顕彰画家である荻須画伯の作品の魅力をPRしてきた。
- ・開館40年を経て、今後は荻須画伯の作品理解を深める作家などについても紹介していく方針で、令和6年度は荻須と同様に、魅力ある風景画を行かれた絵本作家の安野光雅の特別展を開催した。当館では、初の絵本作家の展覧会ということと、安野光雅の人気の高さもあり、安野展の観覧者数は12,000人を超え、当館の展覧会で歴代3位の好成績となった。初めての観覧者の方も多くお見えになり、当館および荻須画伯のPRにも繋がったと考えている。

(委員)

- ・来年度も美術館に多くの方に来ていただけるようにお願いします。

※令和8年度社会教育目標（案）については修正等あれば、12月19日（金）までに生涯学習課に連絡をお願い。

### 3 その他

(事務局)

令和7年度 第2回 稲沢市社会教育委員会・公民館運営審議会 会議録

- ・11月28日（金）に中島地区研修会が開催される。
- ・2月13日（金）の午後2時から第3回社会教育委員会を予定している。後日、改めて案内を送る。

（教育部長あいさつ）

- ・本日は長時間にわたり慎重審議いただきありがとうございました。
- ・不備、修正等がいくつかあったことお詫びします。
- ・本日、様々な意見や宿題もいただきました。その点整理させていただき、次回以降にお願いしたいと考えています。
- ・本日はありがとうございました。

〈午後3時40分閉会〉